



平成 16 年 10 月 25 日

各 位

会社名 東京製網株式会社
代表者名 取締役社長 田中重人
(コード番号 5981 東証第1部)
問合せ先 総務部長 佐藤和規
(TEL . 03 - 3211 - 2851)

業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 16 年 5 月 21 日の前期決算発表時に公表いたしました平成 17 年 3 月期の中間および通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	21,000	600	300
今回修正予想 (B)	22,000	750	120
増減額 (B - A)	1,000	150	180
増減率 (%)	4.8%	25.0%	-
(ご参考)			
前期実績 (平成 16 年 3 月中間期)	21,490	332	205

2. 17 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	29,000	1,100	0
今回修正予想 (B)	30,500	1,170	100
増減額 (B - A)	1,500	70	100
増減率 (%)	5.2%	6.4%	-
(ご参考)			
前期実績 (平成 16 年 3 月中間期)	29,106	956	101

3. 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	46,000	2,200	800
今回修正予想 (B)	47,500	2,200	800
増減額 (B - A)	1,500	0	0
増減率 (%)	3.3%	-	-
(ご参考)			
前期実績 (平成 16 年 3 月期)	44,837	1,415	135

4. 17年3月期連結通期業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	66,000	4,000	2,100
今回修正予想（B）	68,000	4,000	2,100
増減額（B - A）	2,000	0	0
増減率（％）	3.0％	-	-
（ご参考） 前期実績（平成16年3月期）	64,726	3,377	901

5. 修正の理由

これまで3カ年にわたって取組んでまいりました「新生21計画（Vプラン）」を完了し、当期より、新中期経営計画「ネクスト771」への取組みを開始しております。従って、当中間期は、既に実施したVプランの施策の効果によって業績改善を図りつつ、ネクスト771の実現に向けてその施策を具体化していく期間に当たっております。このような位置付けにある当中間期および通期の業績見通しの前回公表時からの主な変更点は次のとおりであります。

- (1) 当中間期の売上高につきましては、主要な材料である線材、燃料等が想定を上回る価格で推移し、そのコストアップを製品価格の改定で対応したこと、また道路関係製品の一部の販売が当初の見込みを上回ったこと等により既公表値を上回る見込みであります。
- (2) 当中間期の経常利益につきましては、道路関係製品の一部の売上高増等によって既公表値を上回る見込みであります。ただ、連結子会社の中には公共関係の予算減少等の影響によって減益になったところもあり、連結経常利益は単社の改善幅をやや下回る見込みであります。
- (3) 当期純利益につきましては、予定どおり泉佐野工場用地を売却したことにより特別損失が発生しておりますが、経常利益の改善によって既公表値を上回る見込みであります。
- (4) 通期の業績予想につきましては、売上高は中間期同様の理由により連単とも既公表値を上回ることが見込まれるものの、経常利益、当期純利益につきましては、主な増収要因が主要な材料等のコスト増を吸収するための製品価格改定によるものであること、加えて業績連動賞与制度の導入等によるコスト増要因も考慮し、連単とも既公表値どおり推移するものと見込んでおります。

以上